

令和7年度第2回企画展

高橋景作没後150周年記念 高野長英展 後期 学術編

感染症に立ち向かった

上州の蘭学者たち

ら

ら
蘭学を
長英に学んだ
学者たち

安政五年
九月五日 高崎辺まで率死病流行し来り
文久二年
十三日 暴瀉病江戸大流行
閏八月廿一日 市城ノ人流行ノコロリニテ死ス
高橋景作日記より

中之条かるた 制作:中之条町教育委員会
絵札:鈴木ひで
読札揮毫:奈良秀重
蘭文 軍中備用(当館蔵)

令和7年

10/31 金

12/17 水

休館日 木曜日

開館時間 9:00~17:00
(入館は16:30まで)



ミュージゼ /
Musée

中之条町 歴史と民俗の博物館
Nakanojo Museum of Folk and History

〒377-0424 群馬県吾妻郡中之条町大字中之条町947-1

TEL 0279-75-1922 URL <https://www.town.nakanojo.gunma.jp/site/myuze/>

■ 観覧料 一般200円(160円) 小中学生100円(80円)

※()内は20名以上の団体料金

※障がい者手帳等をお持ちの方と、その付き添いの方1名は無料



「高橋景作没後150周年記念 高野長英展」の開催にあたって

高野長英は長崎でシーボルトに学び、天保元年(1830)江戸に私塾「大観堂」を開きました。翌年、上州吾妻郡では福田宗禎・柳田楨蔵・木暮俊庵・望月俊斎など、長英の教えを受けて西洋医学を学ぶ者が続出しました。横尾村(現中之条町)の高橋景作は大観堂に入塾し、後に塾頭となりました。長英が「蚕社の獄」で投獄され逃亡した後も、吾妻の蘭学者たちは長英を支援し続けました。

江戸時代の医師たちは閉鎖的な環境の下でも先進医療を身につけ、感染症や様々な病苦から多くの患者を救いました。先人たちが積み重ねた努力の延長線上に、今日の目覚ましい医療の発展があるとの視点に立って、高橋景作没後150周年を記念して高野長英展を企画いたしました。



高野長英肖像 椿椿山画
(重要文化財、奥州市立高野長英記念館蔵)

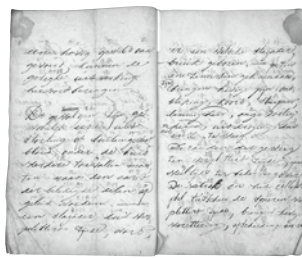
■江戸に蘭学塾・大観堂を開く <天保元年(1830)～天保10年(1839)>



高橋景作宅で発見された
大観堂の陶印
(個人蔵)

麴町貝坂 大観堂学塾跡
(東京都千代田区平河町、当館撮影)

■高橋景作が大観堂で蘭学を学ぶ <天保2年(1831)～天保7年(1836)>



軍中備用 オランダ外科書の翻訳
(個人蔵)



蘭日辞典
訳鍵
(個人蔵)

■救荒作物(早熟蕎麦・馬鈴薯)の栽培奨励



救荒二物考 群馬県版 明治15年(1881)
(奥州市立高野長英記念館蔵)

■赤岩湯本家の製薬 家伝の命宝散(傷薬)は江戸でも販売された



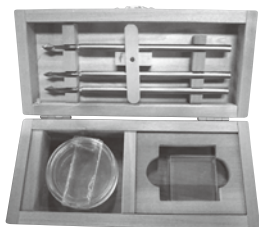
ヤマトリカブト ミヤマニンジン ハッカ

文化年間(1804～1810)頃に制作された「植物標本」(個人蔵)



薬研
(個人蔵)

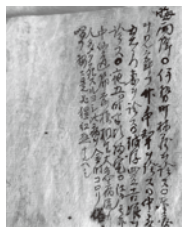
■幕末から明治期の感染症との闘い



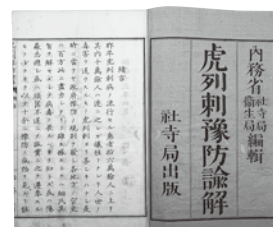
種痘用医療器具 明治時代
(当館蔵)



牛痘漿(ワクチン)
(当館蔵)



高橋景作日記
安政5年(1858)コロリ大流行
(個人蔵)



虎列刺(コレラ)予防論解
明治13年(1880)
(当館蔵)

展示構成

1. 西洋医学の始まり
2. 蘭書の翻訳事業と出版
3. 飢饉救済の
早熟蕎麦・馬鈴薯
4. 蚕社の獄と長英逃亡
5. 幕末の疫病大流行

講演会/シンポジウム

庶民からみた幕末のパンデミック -郷土の蘭医 高橋景作を知ろう-

日時 令和7年11月16日(日)13:00～15:00

場所 中之条町ツインプラザ 学習センター1階 交流ホール

内容 第一部 基調講演「幕末のコレラ+蘭医高橋景作」 講師:はっとり皮膚科医院 医学博士 服部 瑛
第二部 パネルディスカッション
コーディネーター:共愛学園前橋国際大学 名誉教授 宮崎俊弥
パネリスト:はっとり皮膚科医院 医学博士 服部 瑛
国立病院機構東京病院 感染症センター長 永井英明
嬬恋郷土資料館 館長 関 俊明
中之条町歴史と民俗の博物館「ミュゼ」 館長 山口通喜

参加費 無料 定員 190名(事前予約制)

お申し込み 次のいずれかの方法でお申し込みください。
①電話予約 「ミュゼ」0279-75-1922 受付時間:9:00～17:00
②QRコードまたはURLより申し込み
<https://logoform.jp/form/HsKx/1171881>



次回 展示会の 予告

ミニ企画展「昭和のくらしと道具展」
会期:令和8年1月26日(月)～3月15日(日)
第3回企画展「第37回ひなまつり展」
会期:令和8年2月7日(土)～3月15日(日)

交通案内



【電車をご利用の場合】
・JR吾妻線中之条駅から徒歩約15分
・中之条駅から開越交通バス(四方温泉行または沢渡温泉行)約5分、「博物館前」下車
【車をご利用の場合】
・開越自動車道 渋川伊香保ICから約40分(駐車場 約20台)